

第1回医療ツーリズム検討会（仮称）
第1回医療ツーリズム検討ワーキンググループ（仮称）

次 第

日 時 平成31年1月31日（木）19時～21時
場 所 神奈川県総合医療会館 1階AB会議室

- 1 開会
- 2 検討会会長・ワーキンググループ座長の選出
- 3 検討会・ワーキンググループの名称について
- 4 議題
 - (1) 検討会・ワーキンググループに係る役割分担と当面の検討事項について
 - (2) 検討会・ワーキンググループの今後の開催計画について
 - (3) 神奈川県における医療ツーリズム受入の実態把握について
 - (4) 医療ツーリズムの医療機関での受け入れに係る課題の整理について
 - (5) 今後のルール作り等に向けた留意事項について
 - (6) その他
- 5 閉会

《配布資料》

- 資料1 検討会・ワーキンググループの名称について（案）
- 資料2 検討会・ワーキンググループの役割分担と当面の検討課題について
- 資料3 検討会・ワーキンググループの今後の開催計画について（案）
- 資料4 県内における医療ツーリズム受入の実態把握について（案）
- 資料5 医療ツーリズムの医療機関での受け入れに係る課題の整理について
- 参考資料1 医療ツーリズムホスピタル（仮称）開院について（案）
- 参考資料2 医療法人社団葵会AOI国際病院の概要
- 参考資料3 関係法令抜粋
- 参考資料4 訪日外国人に対する医療に係る医療機関調査（厚生労働省）
- 参考資料5 自由診療による医療ツーリズム専門病院について（意見）
（窪倉委員提出資料）

「第1回医療ツーリズム検討会（仮称）」
 「第1回医療ツーリズム検討ワーキンググループ（仮称）」

出席表

（敬称略・五十音順）

○医療ツーリズム検討会（仮称）

委員名	所属団体名	役職	出欠
あらえ 新江 りょういち 良一	神奈川県病院協会	会長	○
いけがみ 池上 あきこ 晃子	相模医師会連合会	会長	○
いしい 石井 たかし 貴士	神奈川県医師会	理事	○
おおかわ 大川 としゆき 寿之	茅ヶ崎市	保健所地域保健課長	○
くぼくら 窪倉 たかみち 孝道	神奈川県病院協会	副会長	○
こばやし 小林 としあき 利彰	横須賀市	保健所長	○
こまつ 小松 かんいちろう 幹一郎	神奈川県医師会	理事	○
さかもと 坂元 のぼる 昇	川崎市	医務監	○
しゅうり 修理 じゅん 淳	横浜市	医療医務監	○
すずき 鈴木 じんいち 仁一	相模原市	保健所長	○
たかはし 高橋 あきら 章	川崎市医師会	会長	○
つじ 辻 としゆき 俊之	藤沢市	福祉健康部参事 兼地域保健課長	○
みずの 水野 きょういち 恭一	横浜市医師会	会長	○
みすみ 三角 たかひこ 隆彦	神奈川県病院協会	常任理事	○
まえだ 前田 みつや 光哉	神奈川県	健康医療局技監	○

（裏面に続く）

○医療ツーリズム検討ワーキンググループ（仮称）

委員名	所属団体名	役職	出欠
うつみとおる 内海 通	川崎市病院協会	会長	○
おおたふみかず 太田 史一	神奈川県病院協会	常任理事	○
おかのとしあき 岡野 敏明	川崎市医師会	副会長	○
こまつかんいちろう 小松 幹一郎	神奈川県医師会	理事	○
さかもとのぼる 坂元 昇	川崎市	医務監	○
すがやすひろ 菅 泰博	川崎市病院協会	理事	代理 方波見 剛 副会長
たかはしあきら 高橋 章	川崎市医師会	会長	○

検討会・ワーキンググループの名称について（案）

各会議体（検討会・ワーキンググループ）の名称について、地域の医療体制と医療ツーリズム受入の調和について、その課題や対応を検討するという設置目的をよりわかりやすく表現するため、それぞれ次の名称としたい。

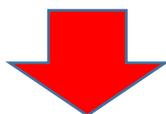
【現時点（開催通知等）における仮称】

神奈川県保健医療計画推進会議

「医療ツーリズム検討会（仮称）」

川崎地域地域医療構想調整会議

「医療ツーリズム検討ワーキンググループ（仮称）」



【会議体の名称案】

神奈川県保健医療計画推進会議

「医療ツーリズムと地域医療との調和に関する検討会」

川崎地域地域医療構想調整会議

「医療ツーリズムと地域医療との調和に関するワーキンググループ」

検討会・ワーキンググループの役割分担と当面の検討事項について

1 検討会 《神奈川県保健医療計画推進会議》

(1) 役割

- 神奈川県内の医療機関等における医療ツーリズムの受入について、地域医療との調和の観点から、現状の把握、課題の整理、円滑な受入に向けたルールづくり等の検討を行う。

(2) 主な検討事項

- ア 本県における医療ツーリズムの現状把握
- イ 医療ツーリズムが地域医療に与える影響及び課題の整理
- ウ 上記課題への対応及び地域医療との調和に向けた仕組み等の検討
- エ 医療ツーリズムに係る既存病床数、基準病床数の取扱いに関する仕組み等の検討
- オ その他

2 ワーキンググループ 《川崎地域地域医療構想調整会議》

(1) 役割

- 川崎地域の医療ツーリズム受入に係る個別事案への対応について、地域医療との調和を図る観点から検討する。

(2) 主な検討事項

- ア 川崎地域において当該個別事案が地域医療に与える影響及び課題の整理
- イ 上記課題への対応及び地域医療との調和に向けた対応方策の検討
- ウ 川崎地域における（当該個別事案に係る）既存病床数、基準病床数の取扱いに関する仕組み等の検討
- エ その他

県内における医療ツーリズム受入の実態把握について（案）

- 今後の検討会及びワーキンググループの議論の参考とするため、県内の医療機関等における医療ツーリズム受入の実態を把握するためのアンケート調査を行う。

1 調査の実施主体

- 神奈川県（健康医療局保健医療部医療課）

2 調査時期

- 平成31年2月上旬～平成31年3月上旬

3 調査対象

- 県内に所在する全病院（340施設）

4 調査対象年

- 平成30年1月～12月

5 調査項目（案）

- （1）当該病院の年間延患者数（総数・内訳数（外来・入院別））
- （2）当該病院の外国人患者の年間受入数（総数・内訳数（外来・入院別））
 - ア 在勤・在住外国人患者の年間延受入数
 - イ 観光目的来日外国人の受入数
 - ウ 医療目的来日外国人の受入数
- （3）医療目的来日外国人の診療の目的別人数（外来・入院別、治療・検診別）
- （4）医療目的来日外国人の主な国籍・地域（外来・入院別、治療・検診別）
- （5）医療目的来日外国人の一人当たり診療単価（外来・入院別、治療・検診別）

6 備考

- 詳細は、今後、関係団体と調整する。
- 本調査の結果は、第2回検討会（平成31年3月下旬～5月頃開催予定）にて報告予定

医療ツーリズムの医療機関での受け入れに係る課題の整理について

1 地域医療に与える影響

- 医師、看護師等の医療人材が割かれる可能性
 - ・ 医療人材における地域医療との調和のための仕組みづくりなど

- 外国人患者の容態急変に伴う周辺救急医療機関への圧迫
 - ・ 容態急変時の周辺医療機関への影響を抑える仕組みの構築など

- 上記に伴う受入救急医療機関における未収金発生の可能性
 - ・ 未収金発生時の医療ツーリズム受入医療法人による負担の仕組みの構築など

2 既存病床数・基準病床数に与える影響

- 外国人専用病床の既存病床への計上
(医療法上、外国人専用病床の既存病床への計上を除外する規定はない。)

3 その他の課題

- 自由診療による日本人の診療の可能性

- 各種ルールを遵守しているかを定期的に確認する仕組みの構築

- ルール逸脱時の対応